

終戦から71年 「平和」について考える

市長 明智 忠直



8月15日の全国戦没者追悼式をはじめ、各地で追悼行事が行われました。犠牲になられた方々やご遺族に心からご冥福を申し上げます。71年を過ぎますと、戦争の恐怖、悲惨さなど、その地獄を経験した人も極端に少なくなっています。この歴史的事実を、後世にしっかりと伝えていかなければと思っています。東京が大空襲を受け焼け野原となり、広島、長崎に原爆が落とされました。310万人以上の日本人が犠牲になった太平洋戦争――。絶対に二度と起こしてはいけないと、世界中の人々が固く決意しなければなりません。

今年、伊勢志摩サミットの際、原爆の投下国であるアメリカのオバマ大統領が広島を訪問した歴史的な年となりました。平和記念公園で追悼の言葉を述べ、原爆資料館も視察されました。大統領が「核のない世界を、勇気を持って創り出していかなければならない」と語った事に感銘を受け、遺族の肩を抱きながら話をされた光景は大変印象に残りました。世界平和の新たな歩みがここに始まったとの思いでありました。できれば他のサミット参加国首脳も広島、長崎を訪問してほしかったと思いました。そのことが核保有国のこれからの平和への道筋となり、第一歩になると思えるからであります。

戦争、紛争、テロといまだ世界は平和とは程遠く、世界の指導者は人命は何よりも重いという事を、政治の究極の目的にしてほしいと思います。平和を考えると、私たちも身近なところで、平和への活動を粘り強く継続していかなければなりません。今後も自分たちの周囲から平和な地域をつくっていききたいと思います。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／15日(木)、20日(火)、22日(木・祝)、毎週月曜日

岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「待ってよ」



蜂須賀敬明 著
(文藝春秋)

年を取るたび若返り、死ぬ時は赤ん坊に戻ってしまう。そこは時が逆行する街だった……。第23回松本清張賞受賞作です。

「水戸黄門 天下の副編集長」



月村了衛 著
(徳間書店)

国史編集が未完となれば、水戸徳川家は天下の笑いもの。業を煮やした光圀公は覚さん介さんをお供に、原稿催促の旅に出ます。

新着図書

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ●江戸の街道を歩く (黒田涼) | ●記憶の渚にて (白石一文) |
| ●母の恋文 (下重暁子) | ●ウエディングドレス (玉岡かおる) |
| ●社会をちょっと変えてみた (駒崎弘樹) | ●三の隣は五号室 (長嶋有) |
| ●脳はなにげに不公平 (池谷裕二) | ●伯爵夫人 (蓮實重彦) |
| ●資生堂インパクト (石塚由紀夫) | ●受難 (糸本蓬生) |
| ●レンズとマイク (大石芳野) | ●シンマイ! (浜口倫太郎) |
| ●客席から見染めたひと (関容子) | ●虫たちの家 (原田ひ香) |
| ●帰郷 (浅田次郎) | ●ちちんぷいぷい (松山巖) |
| ●ポーラスター (海堂尊) | ●親鸞 (三田誠広) |
| ●まっぴたつの先生 (木村紅美) | ●希望荘 (宮部みゆき) |
| ●ジャッジメント (小林由香) | ●長流の畔 (宮本輝) |
| ●真贋 (今野敏) | ●たまちゃんのおつかい便 (森沢明夫) |
| ●疾れ、新蔵 (志水辰夫) | ●珠玉の短編 (山田詠美) |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／9月8日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館